

暑い猛暑も過ぎ去り、虫の音が秋の訪れを告げる季節となりました。年々、気候の変化に伴い暑くも寒くもなく心地よい時期が短くなっているように感じるのは私だけでしょうか。

さて、今年も残すところラスト3ヶ月を切り、このみなりハ第 23 号が皆さんのお手元にお届けする今年最後のお便りとなりました。今年の4月1日を皮切りにスタートした地域リハビリテーション課ですが、この度、当課に女性スタッフ(理学療法士)が2名配属となりました。これまでも利用者様より「女性のスタッフにリハビリをお願いしたい」や、ケアマネジャー様より「南草津病院の訪問リハビリには女性スタッフはおられませんか？」などのご意見やお問い合わせもありましたので、今後は女性ならではの、細やかで行き届いた訪問リハビリを心掛けて参りますのでよろしくお願い致します。

季節の変わり目につき、服装の調整など難しい時期ですが、風邪など体調を崩さないようにお過ごし下さいね。

はじめまして。この度、訪問リハビリに配属となりました山村香湖(やまむら こうこ)です。今までは当院の回復期病棟で働いていました。新しい環境で慣れないことも多いですが、女性スタッフならではの優しさや暖かさが伝わるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

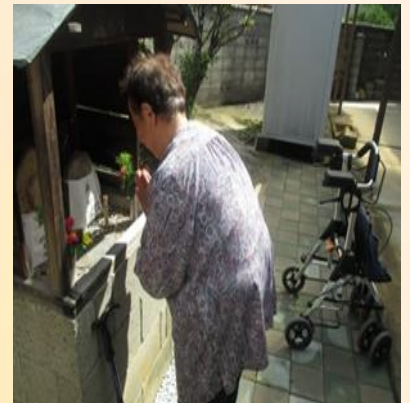
はじめまして。この度、訪問リハビリに配属となりました、御子神(みこがみ)ちひろです。以前の職場でも訪問リハビリをしていました。南草津病院の院内で経験を積み、今回再度、訪問リハビリに行かせて頂くことになりました。笑顔・明るさ・フレッシュ感をモットーに、利用者様の為に一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



「訪問リハビリ卒業後も続くリハビリテーション」

今回は、〇〇市在住の C さんをご紹介します。C さんは訪問リハビリ開始当初は腰椎圧迫骨折の影響から、お部屋の移動が四つ這いでした。訪問リハビリを重ねていく中で、訪問セラピストと一緒に C さんのお身体に適した歩行器を選定し、次第に日常生活の中でも歩行する機会を増やしていかれました。そんな中、ご本人・ご家族とのお話から C さんが以前、自宅敷地内にあるお地蔵様へのお勤めを日課とされていたことを耳にしました。お地蔵様へ行くには段差があり、お勤めがしばらく遠のいていましたが、「おばあちゃんに以前のようにお地蔵様のお勤めに行ってもらって、これをきっかけに普段から歩く距離を少しでも伸ばしてもらえたら…」とのご家族の思いもあって、これまで妨げとなっていた段差箇所には市販のミニスロープを、そして不整地であった地面にはタイルを敷かれることで、歩行器の車輪もスムーズに運ぶことが可能となり、今では毎日お地蔵様へのお勤めが出来るようになりました。また、歩行時にズリ落ちてしまう膝サポーターが落ちないように、お嫁さんがマジックテープを継ぎ足しでミシンで取り付けられるなど、家族一丸となって C さんを支えておられる姿が印象的でした。

毎日の歩行機会が増えることで、足の筋力や自信をつけてこられた C さんは、先日、御詠歌の練習をしにお一人で近所のお寺まで行って帰ってこられました。日課にしておられたことが再び出来るようになることで、歩行の機会が増えます。歩行の機会が増えることで足の筋力や体力が付き、歩行の距離が伸びてきます。歩行の距離が伸びることで今回のように活動範囲が広がってきます。在宅での目標を達成された C さんは、9 月末に訪問リハビリを卒業し、10 月からは当院の通所リハビリで更なる機能訓練に励まれています。



続報！！「一人暮らしでも実現できた料理」

前回、みなりハ 7 月号でご紹介しました F さんの訪問リハビリのご様子を報告させていただきます。F さんは息子さん宅にて、歩行器で買い物に出掛ける傍ら、洗濯物を干す・取り込むなどの一連の洗濯動作や、レンジで温めるなど簡単な調理を実生活の中で行われてきました。その中で着実に実用的な力を身に付けてこられ、今年の夏に息子さん宅からご自宅に戻られ、現在もお一人暮らしを続けておられます。息子さん宅にお住まいの時期は、レンジで温めて食事をする程度でしたが、先日お味噌汁とおひたしをお一人で作られました。久しぶりに作られたそうですが、手順や味付け、包丁さばきなど、長年に渡って培われた動作は健在でした。料理をするにあたり、どうしても入院前のように長い間コンロの前に立ち続けられなかったりすることはありますが、コンロ前に座椅子を置くといった環境調整、高い位置での台所ではなく力がかけられる飯台で野菜を切るなど、その時の場面場面で工夫をこらすことで、やりにくい動作を補うことが出来ました。今回の料理の場面がこちらです。⇒⇒⇒⇒⇒今後、更なる目標の達成に向けて訪問リハビリを実施していく予定です。

